

年表

- 昭和32年4月 国立学校設置法の一部改正により、医学部附属脳外科研究施設が設置された。神経生理学部門が設置された。
- 33年4月 形態学部門が設置された。
- 36年4月 神経化学部門が設置された。
- 37年4月 脳神経外科学部門が設置された。
- 38年4月 医学部附属病院の診療科に脳神経外科が設置された。
- 39年4月 神経内科学部門が設置された。
- 40年4月 医学部附属病院の診療科に神経内科が設置された。
- 42年6月 国立学校設置法の一部改正により医学部附属脳外科研究施設が脳研究所となった。
- 42年8月 事務部が設置された。この際、形態学部門が神経病理学部門に改名された。
- 44年6月 事務部が庶務と会計の2係に分離された。
- 45年4月 神経薬理学部門が設置された。
- 46年4月 附属脳疾患標本センターが設置された。
- 48年4月 実験神経病理学部門が設置された。
- 51年3月 新研究棟(3,467㎡)が竣工。
- 51年5月 脳研究所放射性同位元素研究室が設置された。
- 52年3月 脳疾患標本センター(531㎡)が竣工。
- 59年4月 神経生物学(客員)部門が設置された。
- 61年3月 研究棟の増築(1,018㎡特殊動物実験室など)が竣工。
- 平成6年4月 神経生物学(客員)部門が廃止された。
- 6年6月 発生神経生物学(客員)部門が設置された。
- 7年4月 研究部門の大部門化により、基礎神経科学部門(分子神経生物学、細胞神経生物学、システム脳生理学及び発生神経生物学(客員)の4分野)、病態神経科学部門(病理学及び分子神経病理学の2分野)及び臨床神経科学部門(脳神経外科学及び神経内科学の2分野)の3大部門に、また、脳疾患標本センターを脳疾患解析センターに改組転換した。
- 8年3月 超高磁場磁気共鳴研究棟(251㎡)が竣工。
- 11年9月 超高磁場磁気共鳴研究棟の増築(149㎡)が竣工。
- 14年4月 脳疾患解析センターを統合脳機能研究センター及び生命科学リソース研究センター(新潟大学遺伝子実験施設と医学部附属動物実験施設を統合)に改組転換した。
- 15年3月 統合脳機能研究センター棟(3,969㎡)が竣工。
- 18年4月 生命科学リソース研究センターの3部門をバイオリソース研究部門及び脳科学リソース研究部門に統合改組し、脳科学リソース研究部門にプロジェクト研究分野を新設した。病態神経科学部門分子神経病理学分野をデジタル病理学分野に、統合脳機能研究センター生体情報学分野をデジタル医学分野にそれぞれ改組した。
- 18年4月 統合脳機能研究センターPET棟(416㎡)が完成。
- 19年10月 脳研究所創立50周年記念祝賀会を挙行。
- 20年12月 生命科学リソース研究センターの増築(200㎡)が竣工。
- 21年6月 文部科学省の共同利用・共同研究拠点の認定を受けた。
- 22年1月 脳研究所A棟・B棟の耐震工事が竣工。
- 22年4月 事務部に共同利用・共同研究拠点の活動全般を支援する共同利用係を設置した。
- 23年4月 発生神経生物学(客員)分野が廃止され、病態神経科学部門に分子病態学(客員)分野が設置された。
- 24年12月 脳研究所C棟の耐震工事が竣工。
- 25年7月 動物実験施設の耐震工事が竣工。
- 28年1月 文部科学省の共同利用・共同研究拠点制度の認定更新を受けた。
- 28年4月 共同利用・共同研究拠点名を「脳神経病理資源活用の疾患病態共同研究拠点」に変更した。